

資料 1-3 動物園/水族館を対象としたアンケート調査結果

表 1 回答者属性(重複あり)

属性	回答数
施設責任者	5
飼育担当者(霊長類担当)	11
飼育担当者(霊長類以外担当)	2
獣医師	48
その他	3

表 2 飼育霊長類の分類群と個体数

表 2-1 飼育霊長類分類群(重複あり)

分類	施設数(割合)
曲鼻猿類	41 (24%)
メガネザル科	1 (1%)
広鼻猿類	45 (27%)
狭鼻猿類(オナガザル上科)	45 (27%)
狭鼻猿類(類人猿)	37 (22%)

表 2-2 霊長類の飼育個体数

個体数	施設数(割合)
1~10 頭	9 (15%)
11~50 頭	24 (41%)
51~100 頭	15 (25%)
100 頭以上	11 (19%)

表3 霊長類の展示施設の構造

展示施設数計:155(1つの園館につき最大3種まで回答を依頼した)

表3-1 屋内/屋外

分類群	屋内のみ	屋外のみ	屋内と屋外	施設数計
曲鼻猿類	12	5	14	31
広鼻猿類	14	8	18	40
狭鼻猿類 (オナガザル上科)	2	10	29	41
狭鼻猿類 (類人猿)	5	1	36	42

表3-2 施設タイプ(1つの展示施設に複数の構造もつ場合を含む)

	ガラス板・ アクリル板	柵・網	壕 (サル山、 空堀含む)	ふれあい等	サファリ等
曲鼻猿類	13	15	3	11	0
広鼻猿類	22	22	4	4	0
狭鼻猿類 (オナガザル上科)	14	22	20	0	1
狭鼻猿類 (類人猿)	33	26	18	0	0

表4 来園者との展示動物との距離

ガラス板/アクリル板の隔壁がない展示施設(サファリ形式を除く):55施設

	柵・網(壕なし)	壕(サル山、空堀含む)
2m以内	27 (49%)	2 (4%)
2m~5m以内	3 (5%)	12 (22%)
5m~10m以内	0 (0%)	11 (20%)

表 5 飼育動物の健康管理

表 5-1 健康診断等の実施

	実施(割合)	非実施(割合)	園館数計
健康診断	34 (58%)	25 (42%)	59
ツベルクリン	15 (25%)	44 (75%)	59
剖検	54 (92%)	5 (8%)	59

表 5-2 健康診断の実施頻度

健康診断の頻度	園館数(割合)
毎日	1 (2%)
月1回	3 (5%)
年1回	13 (22%)
数年に1回	3 (5%)
異常が認められる時	3 (5%)
搬入・移動時	3 (5%)
不定期	5 (8%)
不明	3 (5%)
実施していない	25 (42%)
計	59

表 6 バイオセーフティに関する対応状況について

表 6-1 死体処理の方法

処理の方法	園館数(割合)
専門業者に依頼	8 (14%)
施設内で処理	23 (39%)
一般廃棄業者に依頼	8 (14%)
その他	20 (34%)
計	59

表 6-2 感染症予防の管理体制

	あり(割合)	なし(割合)	計
感染症対策講習会の受講機会	4 (7%)	55 (93%)	59
感染対策マニュアルの整備	8 (14%)	51 (86%)	59
相談医師の有無	14 (24%)	45 (76%)	59
締結病院の有無	3 (5%)	56 (95%)	59

表7 飼育担当者及び来園者の感染予防対策について

表 7-1 飼育担当者の感染予防対策

感染予防対策	実施(割合)	非実施(割合)	計
作業服の着用	53 (90%)	6 (10%)	59
靴の消毒	57 (97%)	2 (3%)	59
マスクの着用	43 (73%)	16 (27%)	59
ゴーグル、フェイスガードの着用	0 (0%)	59 (100%)	59
手袋の着用	35 (59%)	24 (41%)	59
手洗いの励行	55 (93%)	4 (7%)	59
手指の消毒	48 (81%)	11 (19%)	59
検温	31 (53%)	28 (47%)	59

表 7-2 来園者の感染予防対策

感染予防対策	実施(割合)	非実施(割合)	計
靴の消毒	45 (76%)	14 (24%)	59
マスクの着用	26 (44%)	33 (56%)	59
手袋の着用	1 (2%)	58 (98%)	59
手洗いの励行	39 (66%)	20 (34%)	59
手指の消毒	41 (69%)	18 (31%)	59
検温	14 (24%)	45 (76%)	59

表 8 結核に対する意識等

質問	はい(割合)	いいえ(割合)	計
結核は人獣共通感染症であることを知っているか	58 (98%)	1 (2%)	59
サルの結核は届出感染症であることを知っているか	55 (93%)	4 (7%)	59
サル用ツベルクリンが利用できなくなったことを知っているか	28 (47%)	3 (53%)	59
人獣共通感染症蔓延防止について日頃から注意喚起を行なっているか	41 (69%)	1 (31%)	59
結核蔓延防止について日頃から注意喚起を行なっているか	15 (25%)	44 (75%)	59